

2024年 7月 21日

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌516番「世びとは敵に」
～Believe in God～

十 戒

聖書朗読 使徒行伝9章19b～31節

特別賛美 川田直輝兄「主の祈り」

メッセージ 「励ましが教会を建てる」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌392番「神はひとり子を」

賛 美 ～フット・プリント～

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～主イエス神の愛～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝します! 今週も主の祝福と守りをお祈りします!

★今週の祈り会: ①明朝6時: 早天。②木曜夜7時半: 祈禱会。③土曜夜8時。

☆木曜午前10時半～、WOGA 集会が行われます。ポーマン・ルリ子先生

★来週の日曜午後は聖歌隊の練習。礼拝司会: 石井秀人兄/祈禱: 寺澤政枝姉。

☆☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [7/21-/28]☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	ヨブ 6-10	11-15	16-20	21-26	27-30	31-33	34-37	38-42
チェック	○○○○ ○	○○○○ ○	○○○○ ○	○○○○ ○	○○○ ○	○○○	○○○○	○○○○○

「励ましが教会を建て上げる」

～バルナバの偉業～

「こうしてユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全土にある教会は、平安を得、確立され（知恵と徳と敬けんにおいて成長し）、主に対する尊敬（敬けんをおそれ）をもって聖霊の慰め（励まし）を受けて歩み、増加し続けた（数を増した）。」 使徒行伝9章31節〔詳訳聖書〕

バルナバが、回心したサウロを、エルサレムの本部教会に受け入れてもらいたいと願い彼を紹介しました。しかし、ステパノの殉教を指揮したような人物を受け入れる訳にはいかないと一旦は拒絶されてしまいます。しかし、バルナバは決してあきらめることなく、サウロを弁護して、彼の変わり様を必死に真実な心で説明しました。そして、やっとサウロは兄弟として受け入れられ、公然と、大胆にイエスが救い主であることを伝えることができるようになりました。

しかし、今度は、サウロの元仲間であった、クリスチャン迫害者たちのメンバーから命をねらわれるようになってしまいます。夜昼構わず、サウロを待ち伏せし、その命を奪おうと執拗に狙われるようになっていきました。もう、これには、サウロも表に出ることができなくなって、せつかく、主の福音を伝えるために選ばれて、人生の方向転換もできたのに、手も足も出なくなってしまいます。青年パウロでもあったこの人物の将来を心配したバルナバはじめ、初代教会のリーダーたちは、彼を守るために、一旦は、手を引くようにサウロを導きます。実家のタルソに退きなさいと。そして、そこで数年間、再びバルナバによって引き出されるまで、とどまっていることとなりました。サウロにとって、とても苦しい時期だったと思います。明確な信仰の変化を与えられたにも関わらず、また、教会の許可も公然といただいているにも関わらず、その働きができない。

しかし、上記の31節に書かれていますように、その結果、神様の働き、教会の働きが素晴らしく祝福されて、大きく前進したと記されています。

サウロは後に偉大な伝道者パウロとして羽ばたくわけですが、そのパウロになる前は、完全にその翼を失われた大鷲でした。しかし、その状況で、神様の御業は大いなる発展を遂げたということです。人のわざによるのではなく、神様の業であった訳です。

そして、その間になされたことは、大伝道者パウロが羽ばたけるように大いなる土台作りを行ったバルナバの働きです。バルナバの働きなくして、異邦人伝道の道は開かれなかったと言えます。バルナバの働きがなければ、使徒行伝の後に書かれていくパウロの13の手紙も、存在しなかったかもしれません。その後の教会の拡大もあり得なかったことでしょう。バルナバはユダヤ人の教会であったエルサレム教会と異邦人の教会であったアンテオケ教会をつなぐ働きをし、異邦人の教会であるアンテオケ教会の土台を造り上げました。そして、再びタルソへ行って、サウロを捜し出し、共にアンテオケ教会で働くように導いたのです。（11:22-26）